

中心児報

発行日：2024（令和6）年5月23日
発行：社会福祉法人 中心会
児童養護施設 中心子どもの家
相模原市中央区田名10125
TEL：042-764-7046
URL <http://kodomo.chusinkai.net/>
E-mail kodomonioie@chusinkai.jp
発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」創設者 常岡一郎 揮毫



創造のための凡事徹底

所長 丹 清

標題は、今年度の中心子どもの家職員の合言葉です。私達職員が、「きちんと挨拶する」「ゴミが落ちていたら拾う」など、特別な才能がなくてもできる平凡なことを非凡なほどに徹底してやり続け、自らの人間力を鍛えていきたいと思えます。そこから、子ども一人ひとりの「自分らしく生きる」を創造していきたいのです。

「ゴミを拾う」なんて、いかにも例えば前近代的な高校野球のような発想に思われるかもしれませんが、ですが、あの大谷翔平選手も高校時代は「ゴミを拾う」を日々の行動計画として明記し、徹底してやり続けたとのこと。ゴミを拾うことと野球技術の向上は関係がないようで、なぜか不思議に結びついているのでしょう。（メンタルトレーニングなどの科学的根拠が、実際にあるのかもしれませんが）



右上の写真は、この仕事を通じて何度かお逢いする機会を得た児童精神科医の佐々木正美さんの著書です。この著書には「創造のための凡事徹底」、そんな感じのことが多く記されていると思いました。私達も学んでいきます。

新任職員紹介

●今年度は新しい2名の職員が加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。



渡部 美幸 (わたなべ みゆき)

4月から花の家の職員になりました、渡部美幸です。
前職はこどもセンター・児童クラブに勤務し、子ども達の放課後を見守っていました。中心子どもの家に来て毎日、「今日も優しさがあったなあ。素晴らしいなあ。」と必ず一つは感動する場面があり、幸せな気持ちで帰っています。
子どもの成長はあっという間なので、早く日常業務に慣れ、子ども達をより深く支援できるよう頑張ります。
よろしくお願いいたします。



町田 真緒 (まちだ まお)

4月から大地の家の職員になりました、町田真緒です。
小学生のときに読んだ本の児童養護施設の職員に憧れ、それ以降ずっと職員になる夢を追いかけてきました。子どもと関わるのが好きだったため、保育資格を取るまでの3年間放課後デイサービスで障害児の支援の勉強をしてきました。その経験を生かしつつ、新しいことをたくさん吸収していきたいと思えます。
元気いっぱい大地の家の子ども達とたくさん関わって信頼関係を築いていき、安心感のある職員になりたいです。

生活の様子

手作りおやつ

給食課は週に1回子ども達に手作りおやつを提供しています。今日は手作りプリンを作りました。カラメルソースを焦がさないように注意し、プリン液を大きな回転釜で「す」がたたないようにじっくり蒸していくなど慎重に作っていきます。

子ども達は完成したプリンを見て「今日手作り？」とすぐに反応してくれました。

食べた後の感想も聞くと「美味しかったから今度もっとおっきいのにして!」「カラメルうまい」など感想を教えてくださいます。調理員もこのような子ども達の反応が楽しみで「今度は何作ろうかな。パウンドケーキ作ろうかなあ。」と考えています。

子ども達の日常の中の小さな喜びのきっかけの一つになればいいなあという気持ちで、今後も手作りおやつの提供を続けていこうと思います。



ドリンク作り

中心子どもの家では、普段12~13人で生活しており、職員と1対1の時間は日常の中ではなかなか取ることができません。そのため「個別対応」という担当職員と1対1で過ごす時間を設けています。個別対応の時間では、1対1で外出したり、料理や工作をしたり、子どもに経験してもらいたいことなどを取り入れています。

この春に卒園した児童との個別対応の時間では、ドリンク作りを行っていました。その時に作ったのが写真のドリンク。事務所職員にもおすそ分けしてくれました。紙コップの大きさを間違えたためちょっとバランスが悪くなってしまったとのことでしたが、楽しく作った様子でした。



写真撮影



例年、卒業写真の撮影等でお世話になっている写真家の川太さんに、今年は入学写真を撮影していただきました。今年の春休みは不安定な天気が続いており撮影日の天気も心配でしたが、運良く晴れて、良い写真撮影日になりました。



さくらもち

4月も下旬になれば園庭の桜は散り、ツツジが咲き始めました。園庭で何やらせせか作っている女の子たちがいたので、聞いてみると、ツツジと桜の葉で桜餅を作っていたそうです。

一昨年は、男の子たちが泥団子と桜の葉っぱで柏餅を作っていましたが、今回は桜餅。子どもの発想力はすごいなあと感じました。



相模原市里親養育包括支援センター・相模原市共催

里親体験談

日にち

2024年

8月4日

(日)

時間

午前10時～

12時

(開場 9時半)

家庭の数だけ
楽しくて、苦しくて、
切なくて、甘い
物語があります。

会場

サンエール

さがみはら

第1会議室

相模原市緑区

西橋本5-4-20



申込み締め切り
8月1日(木)

申し込みは**事前に**下記メールまで
(二次元コードでも読み取れます)

minami-satooya@chusinkai.jp

①住所

②参加者全員の氏名(ふりがな)

③電話・携帯の番号 を記載下さい。



問い合わせ先 相模原市里親養育包括支援センター 「ふうせんかずら」

〒252-0231 中央区相模原5-1-20 南栄ビル402

電話 042-704-8433 (平日・土日・祝日 午前9時～午後6時)

ご寄附お礼 [2024年1月～3月]

島田昌子様・門司一徹様・会田吉美様・武井聡美様・淵野辺ひばり幼稚園父母会様

株式会社 インタージャンク 代表取締役 佐藤善彦様・一般財団法人 日本児童養護施設財団様

株式会社 カプセルZ様・㈱ザ・シティ相模大野店様・グランマChie様

ニラク海老名本郷店様・マルハン橋本台店様・匿名3名様

熱いご支援
ありがとうございます
ごじます

